

eラーニング市場調査に見る導入・活用の傾向

2019年5月17日
日本イーラーニングコンソシアム
調査委員会 小橋 岳史

1. 調査委員会による調査テーマ

eLC調査委員会による調査テーマ

Today's Report

- ・ eL利用の全般的な状況（利用状況、市場動向）
- ・ eL関連技術（eLとその周辺）
- ・ eLの人材育成施策への適用状況（ヒアリング）
- ・ eLP資格の取得状況、活用状況

こうした調査を実施し結果をまとめ公表していきます。

⇒ <http://www.elc.or.jp/information/reports/>

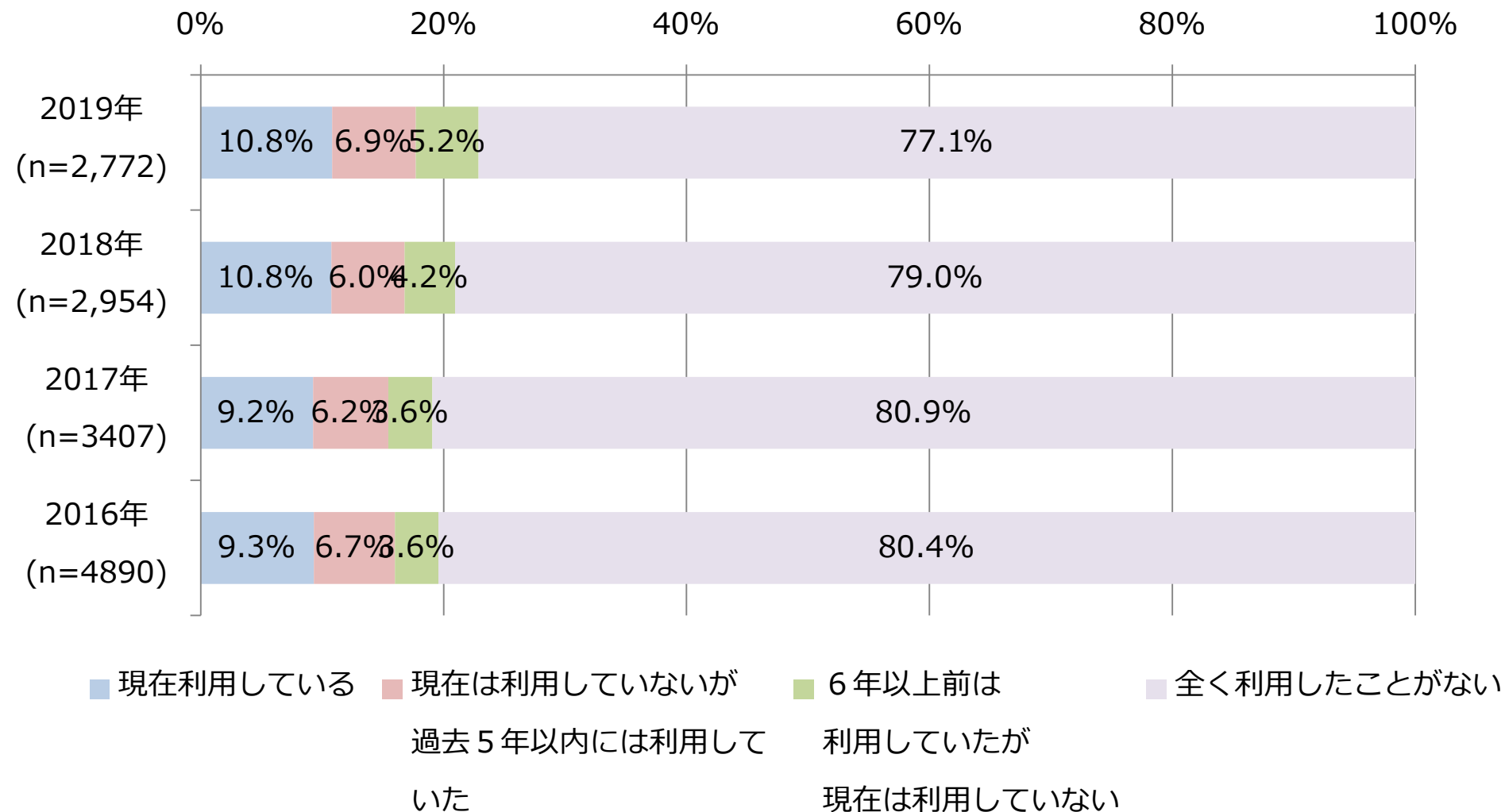
2. 調査の概要

調査概要

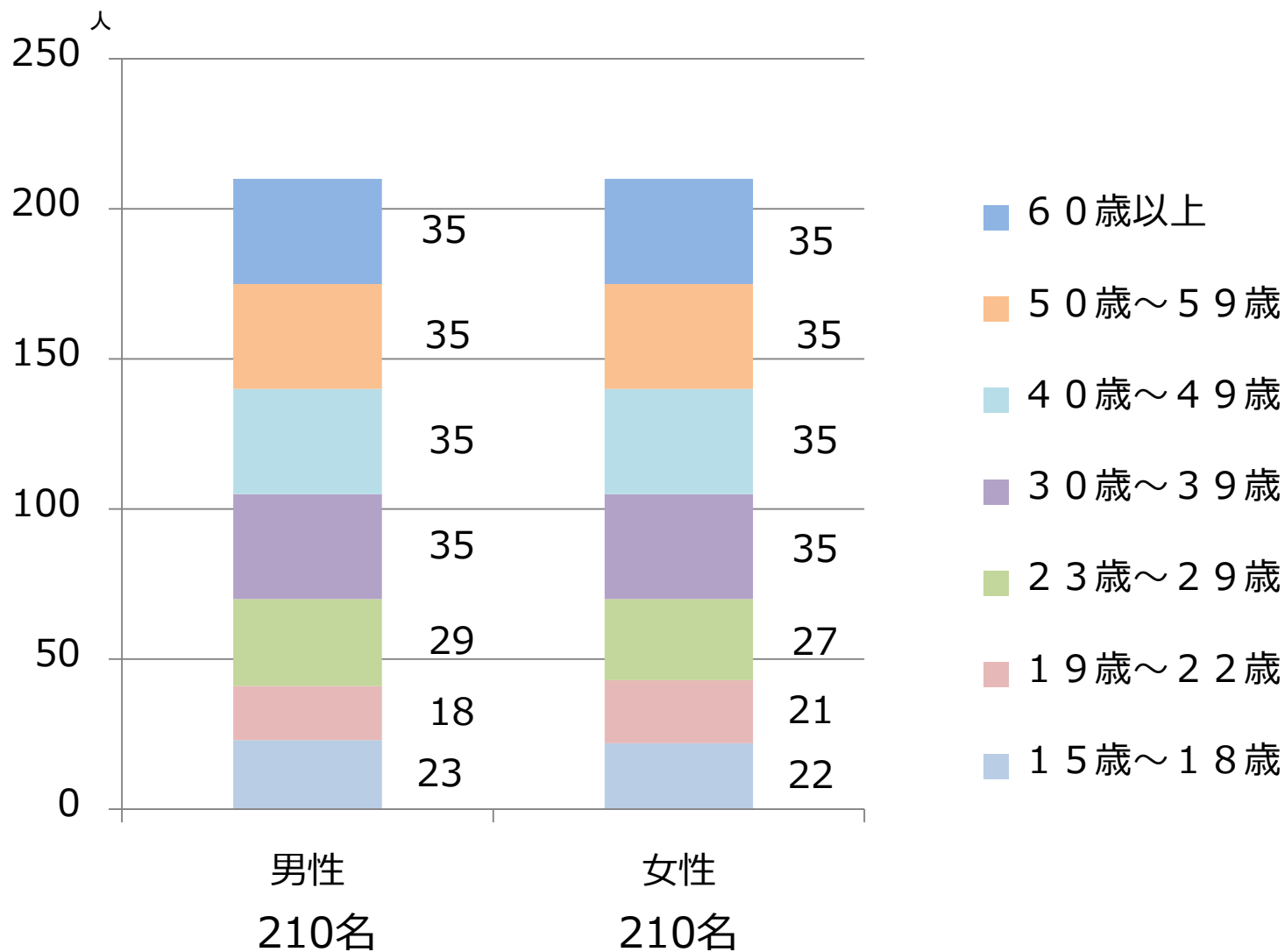
- ・ 調査目的 : eラーニング利活用の一般的現状を把握する。
定点観測し傾向をみる
- ・ 調査対象 : eラーニングを利用している人 もしくは
過去5年以内に利用していた人
(全国15～89歳、平均40.49歳)
- ・ サンプル数 : 420 (プレ調査2,772)
- ・ 調査期間 : 2019年3月15日～17日

※eラーニングは「スマートフォンやタブレット、パソコンなどの
情報機器を活用した学習」と定義

2. 調査の概要



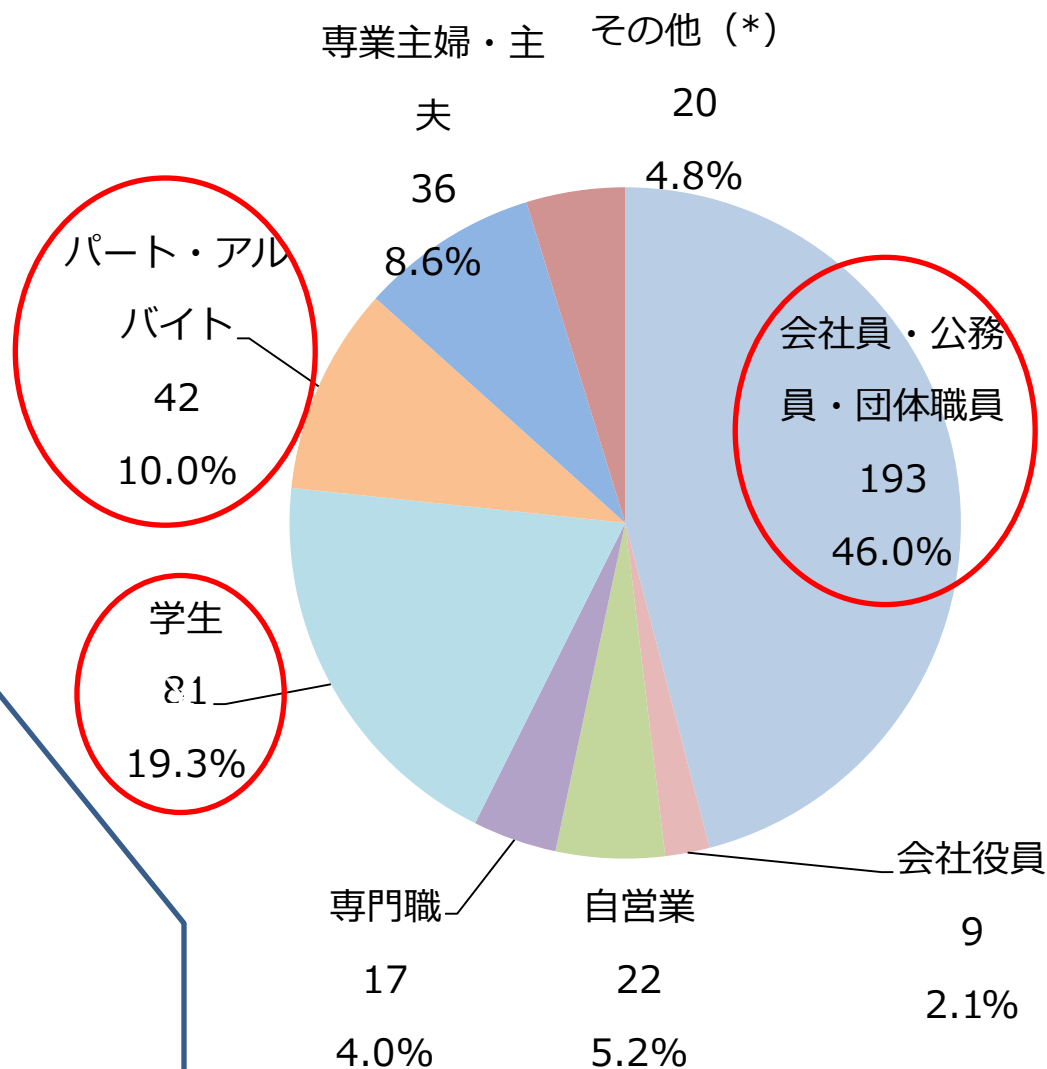
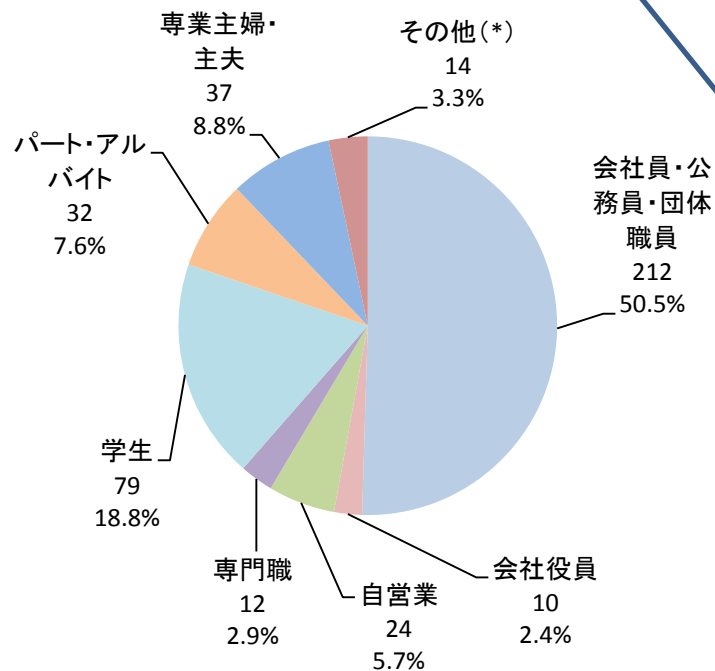
2. 調査の概要



2. 調査の概要

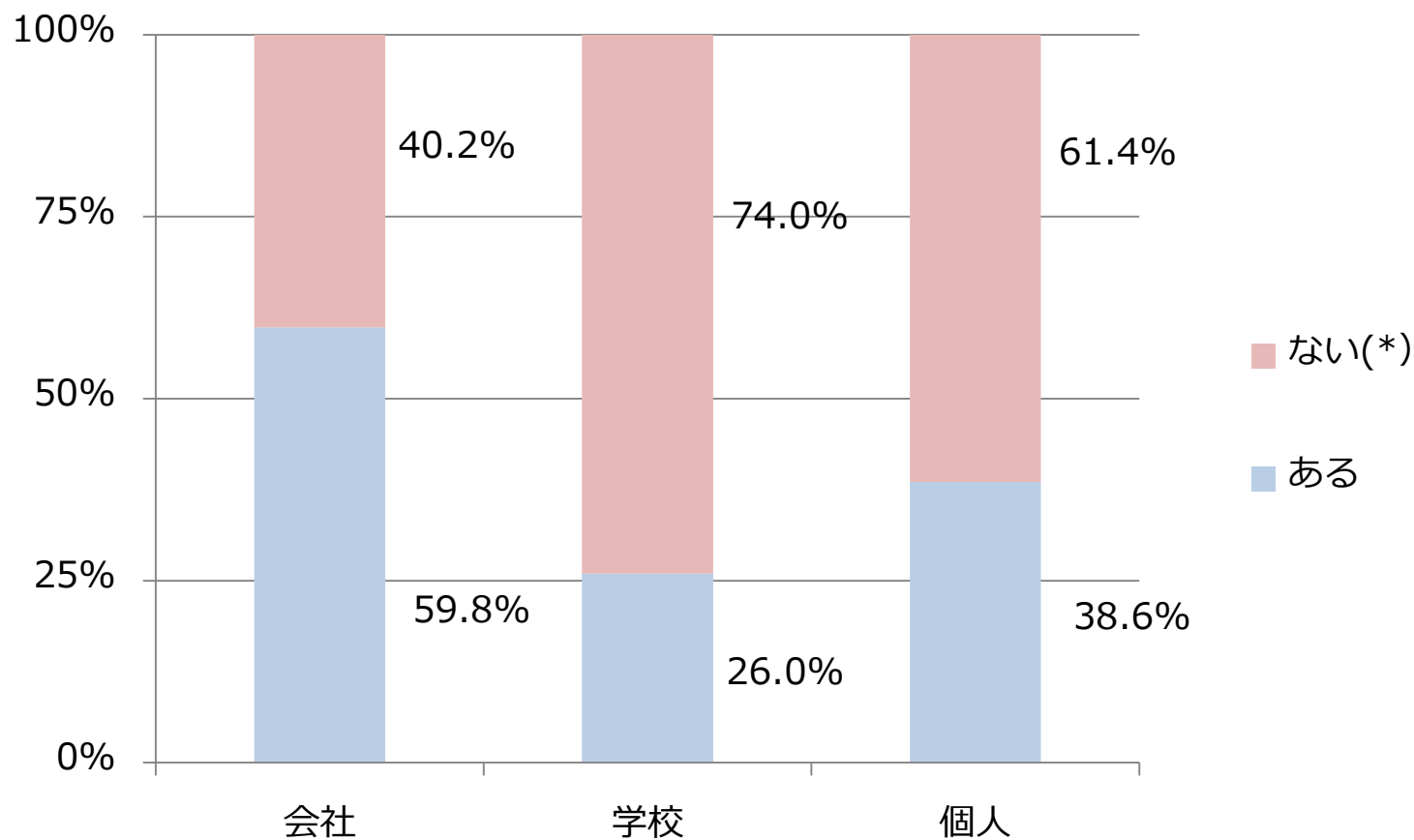
職業構成

<2018年調査>



3. 調査結果のご報告

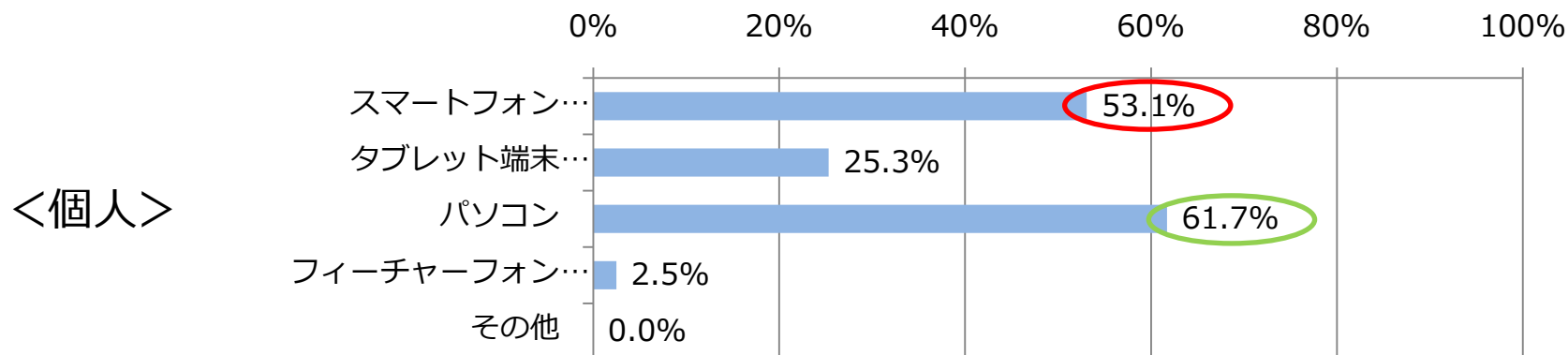
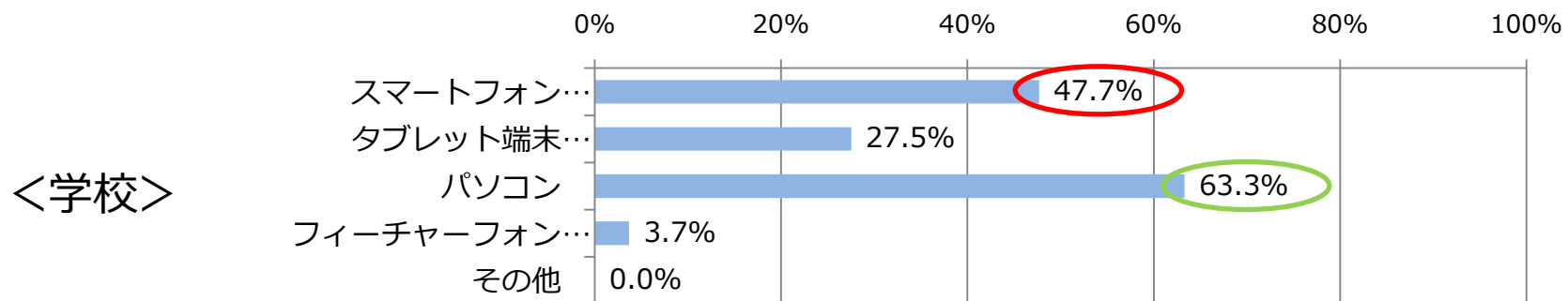
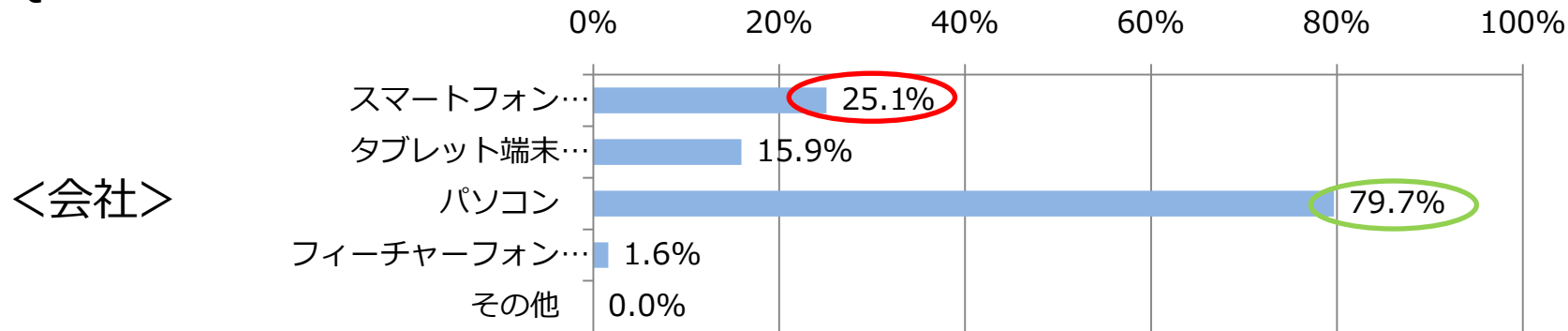
Q 1. eラーニングはどこで利用しましたか？



※“会社”の『いいえ』の中には、学生および、勤務経験がない人などを含む

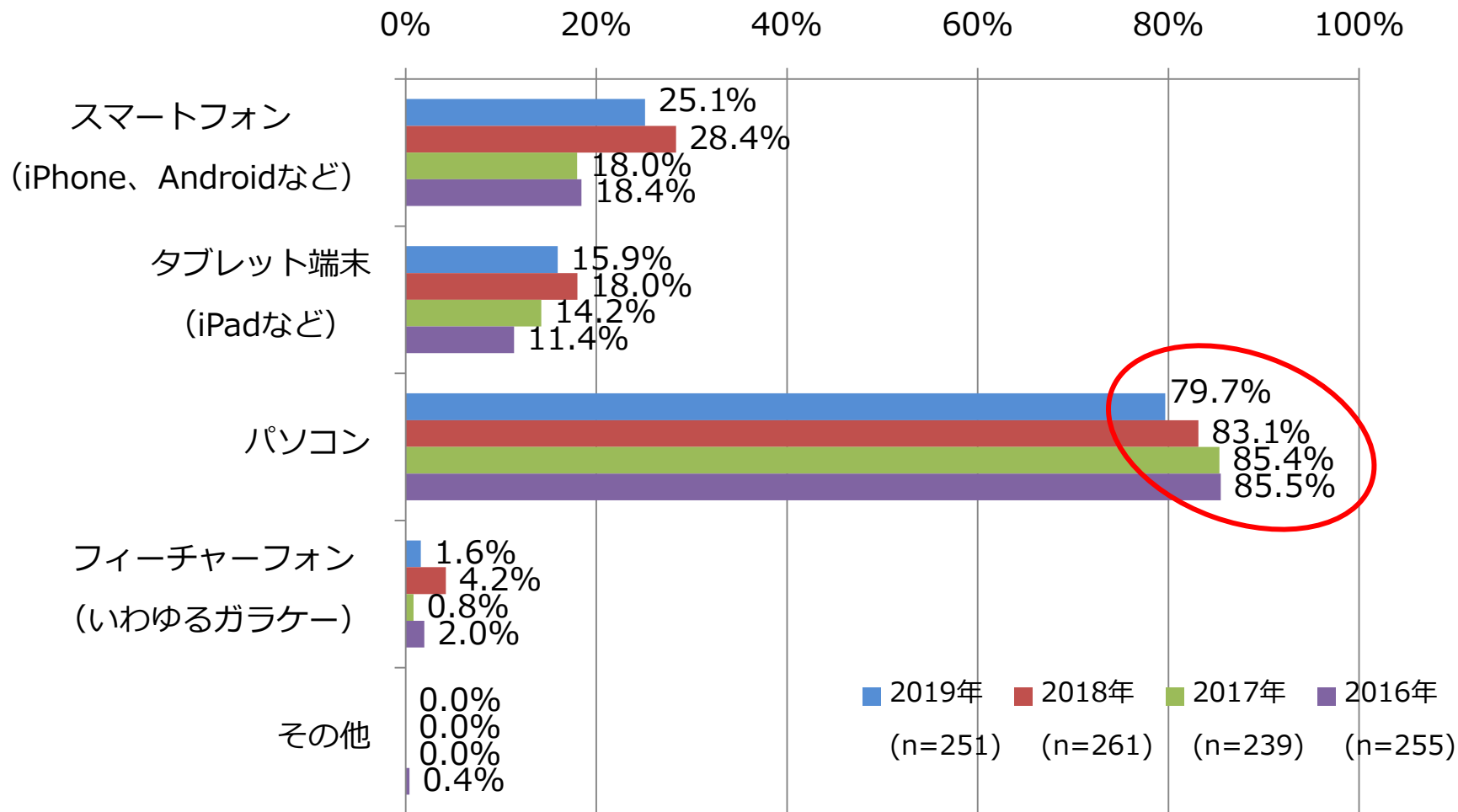
3. 調査結果のご報告

Q2. eラーニングの利用（利用していたを含む）には何を使っていますか？



3. 調査結果のご報告

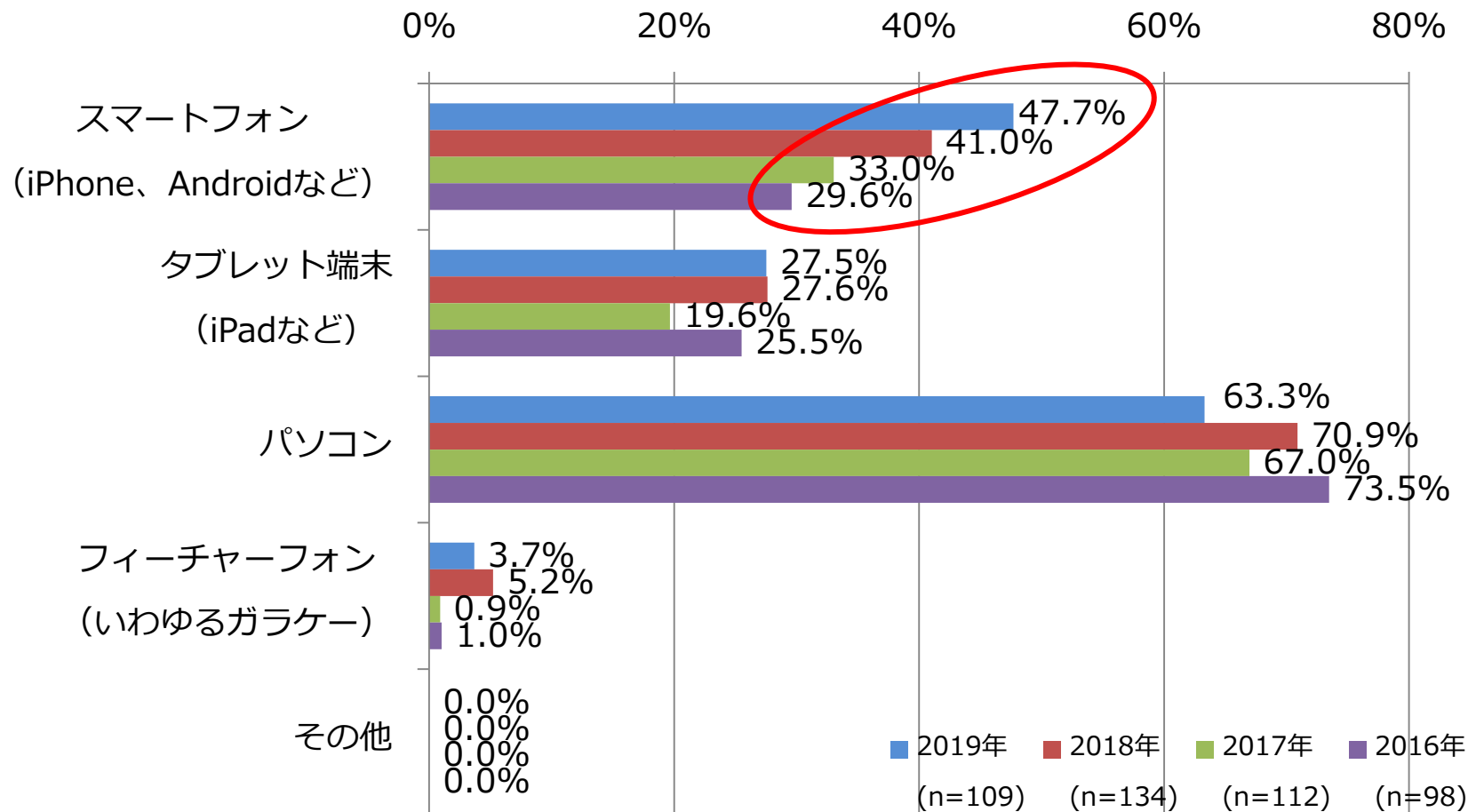
Q2. eラーニングの利用（利用していたを含む）には何を使っていますか？



<トレンド ~会社の場合~>

3. 調査結果のご報告

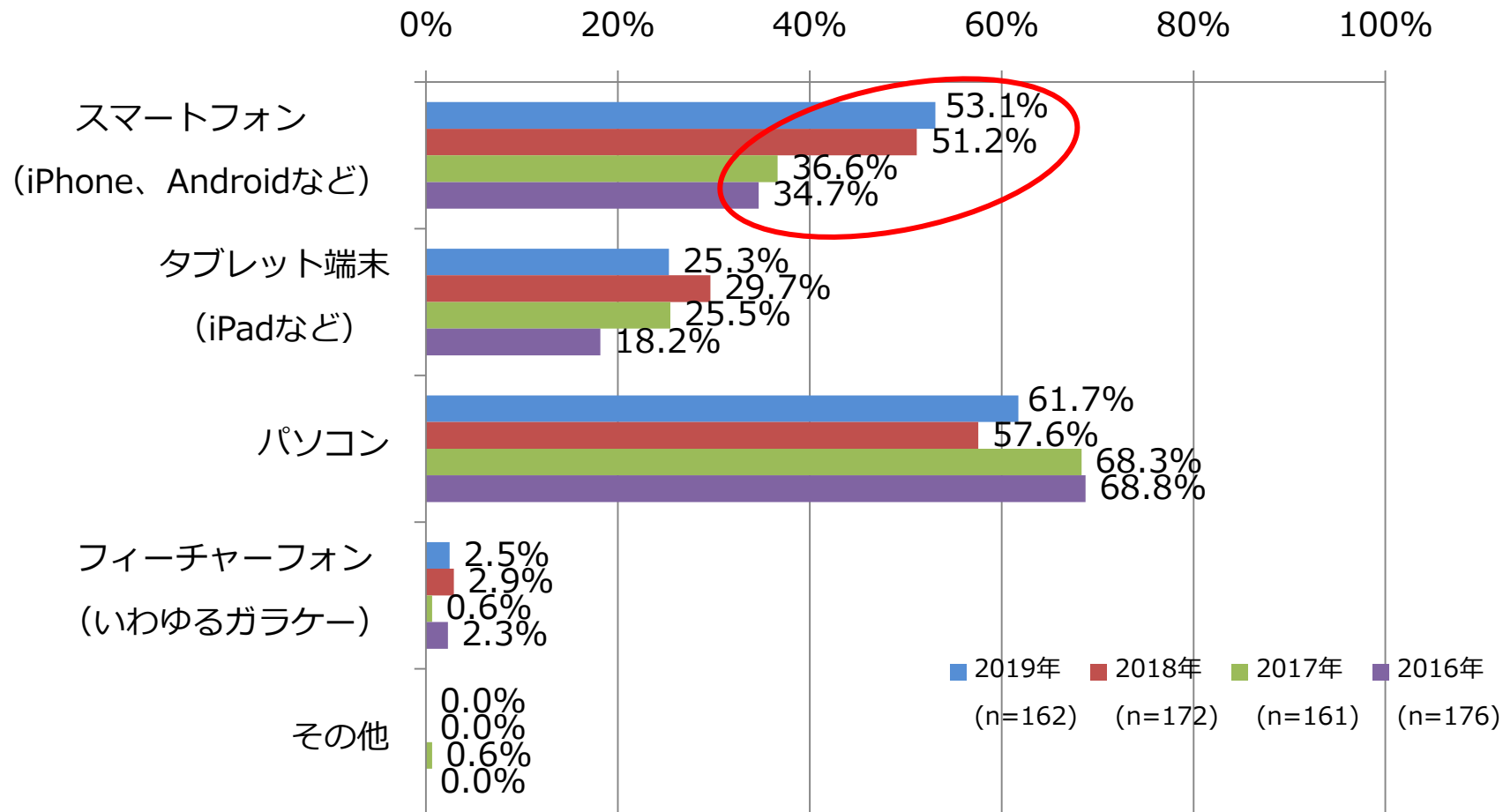
Q2. eラーニングの利用（利用していたを含む）には何を使っていますか？



<トレンド ～学校の場合～>

3. 調査結果のご報告

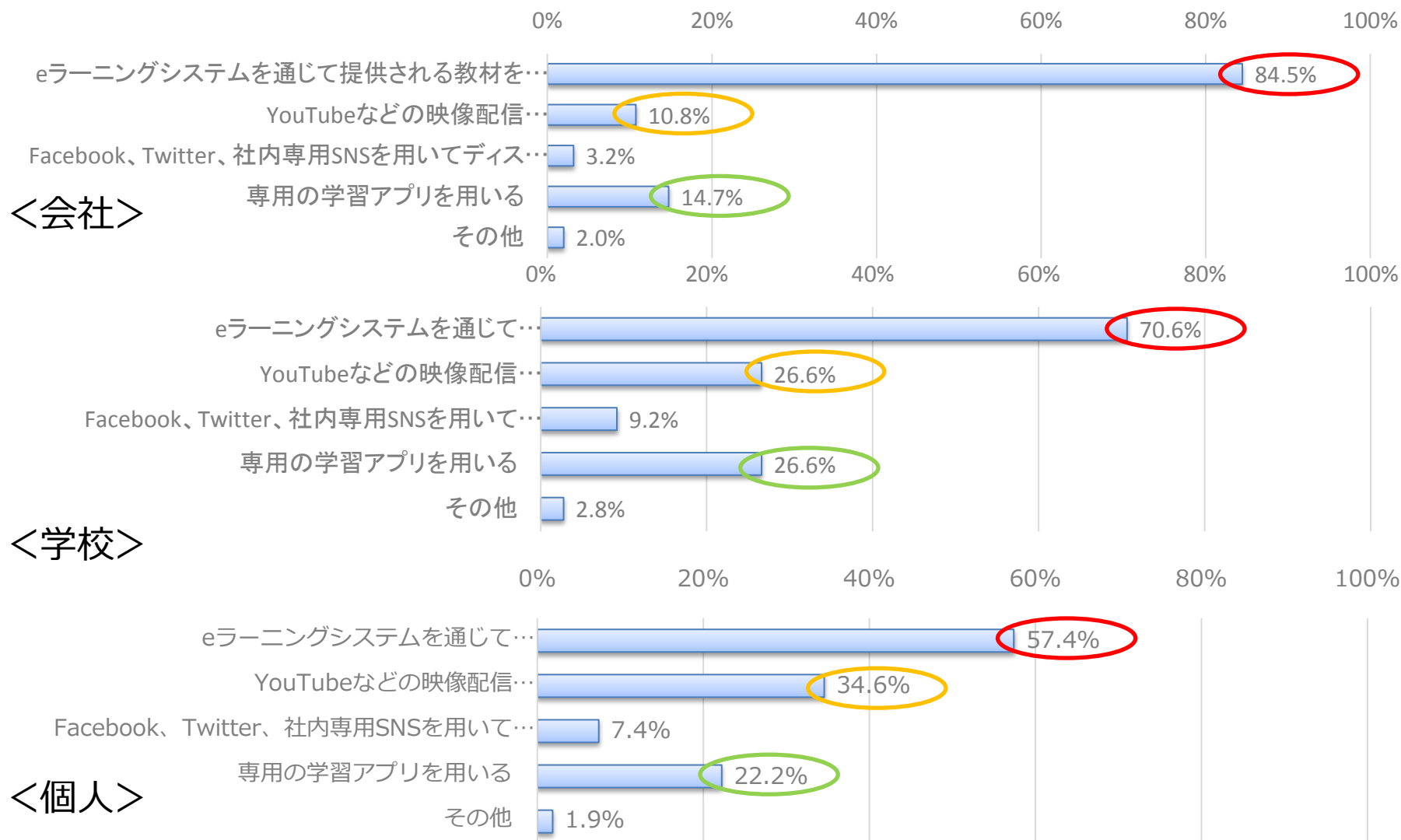
Q2. eラーニングの利用（利用していたを含む）には何を使っていますか？



<トレンド ~個人の場合~>

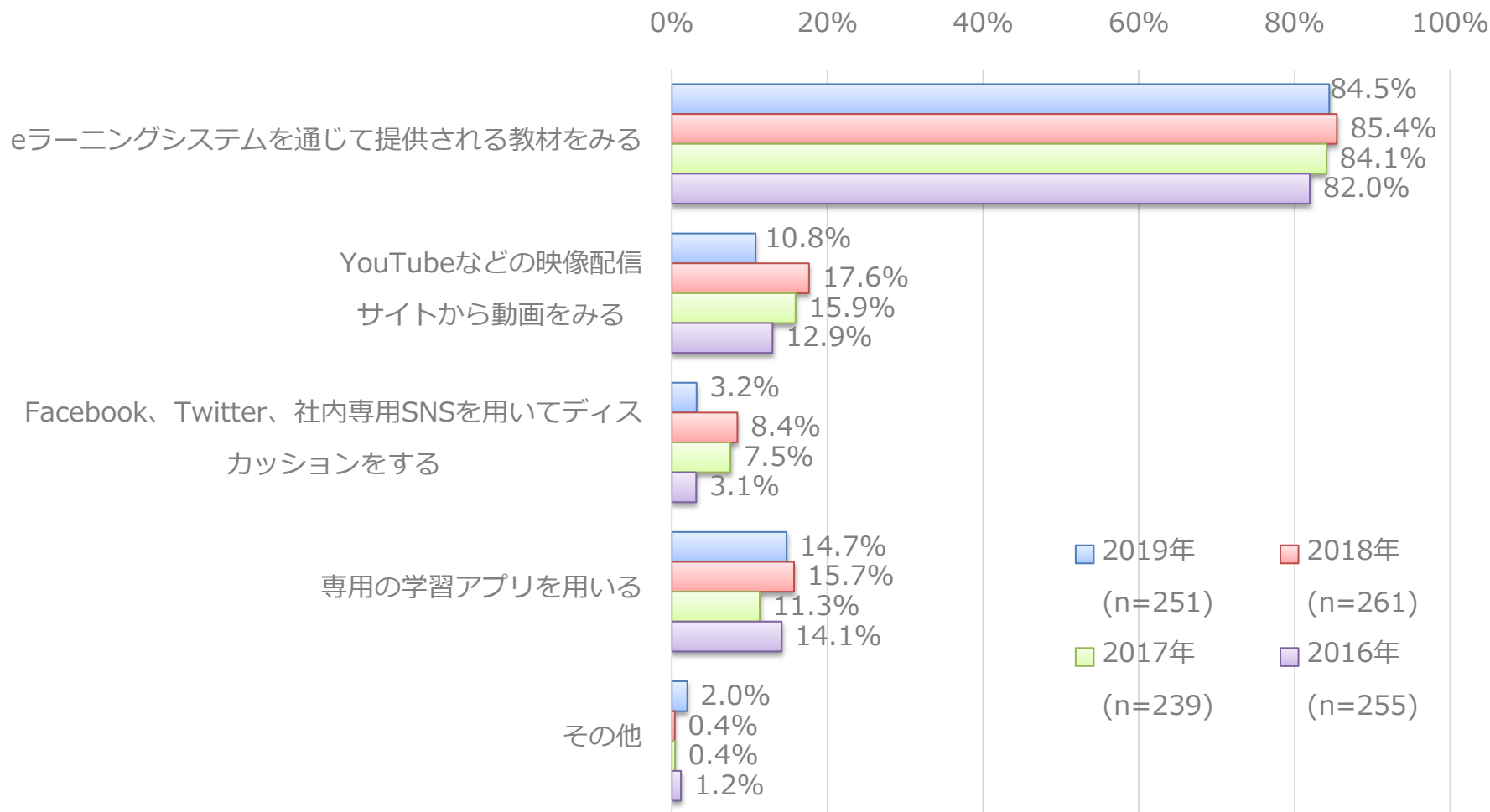
3. 調査結果のご報告

Q3. 利用している（していた）eラーニングの手段は主にどのようなものですか？



3. 調査結果のご報告

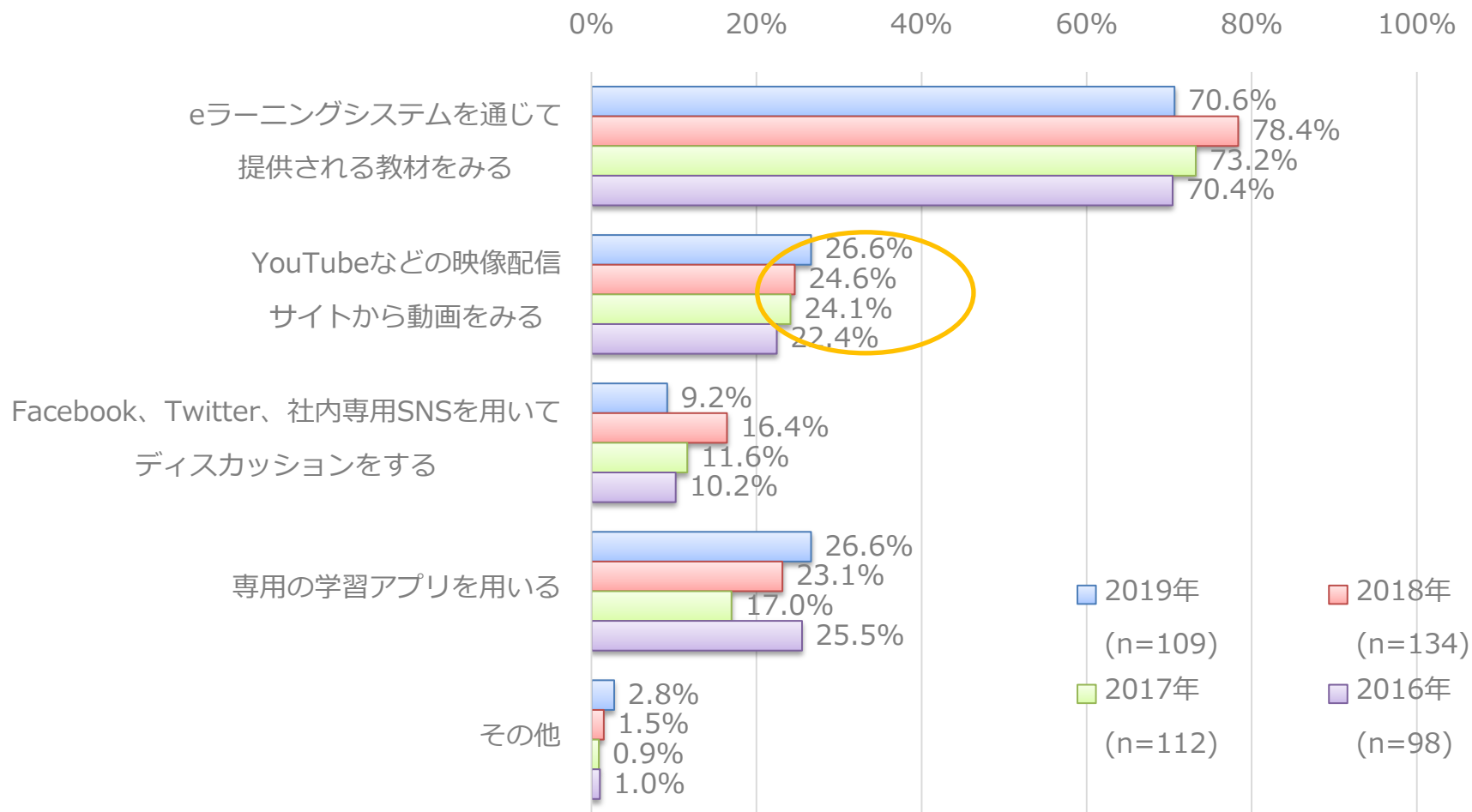
Q3. 利用している（していた）eラーニングの手段は主にどのようなものですか？



<トレンド ~会社の場合~>

3. 調査結果のご報告

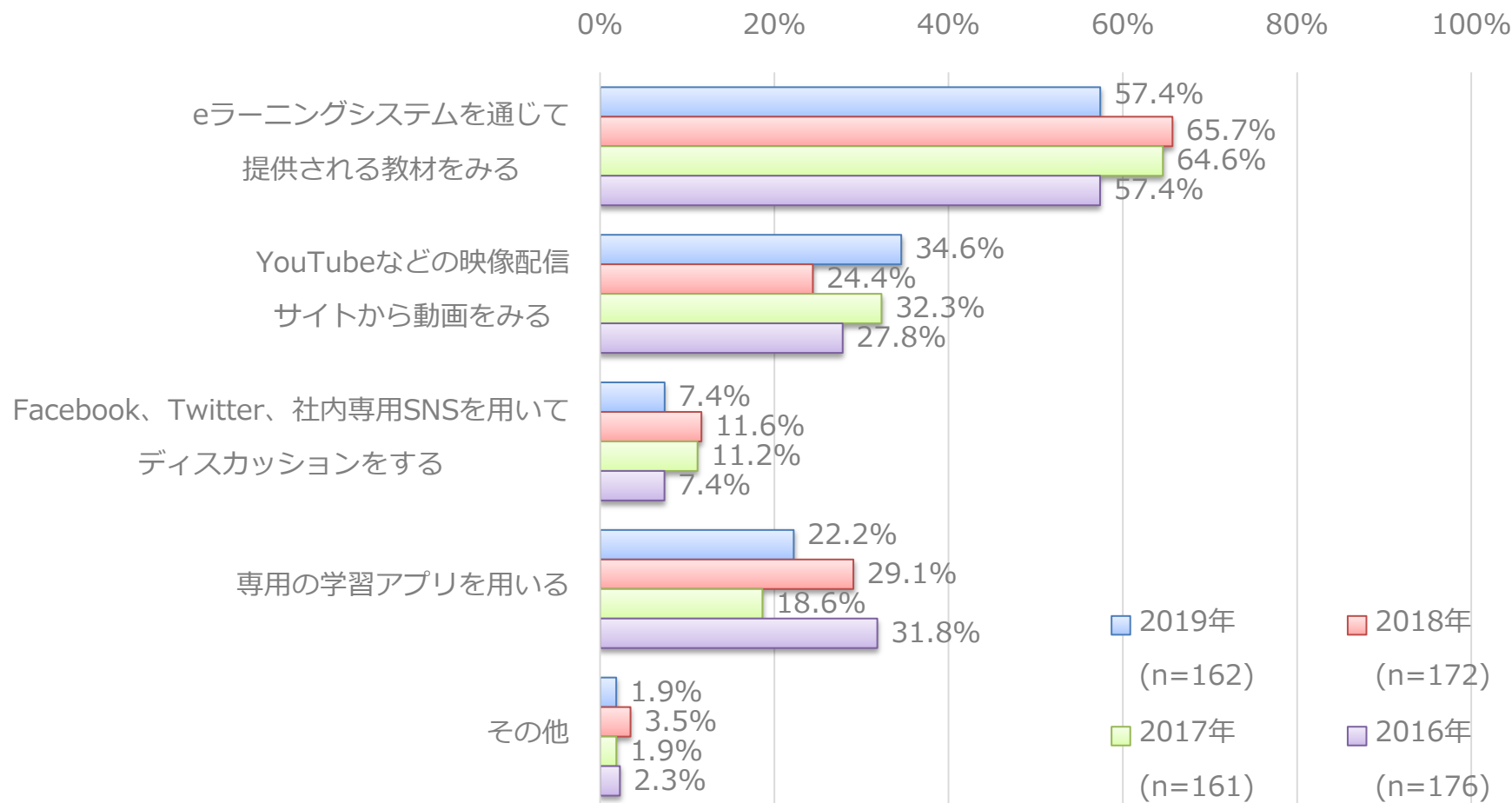
Q3. 利用している（していた）eラーニングの手段は主にどのようなものですか？



<トレンド ~学校の場合~>

3. 調査結果のご報告

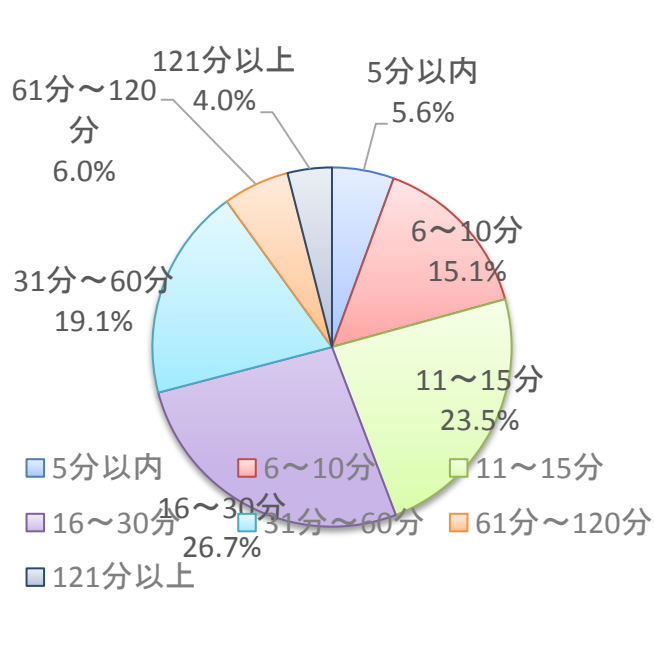
Q3. 利用している（していた）eラーニングの手段は主にどのようなものですか？



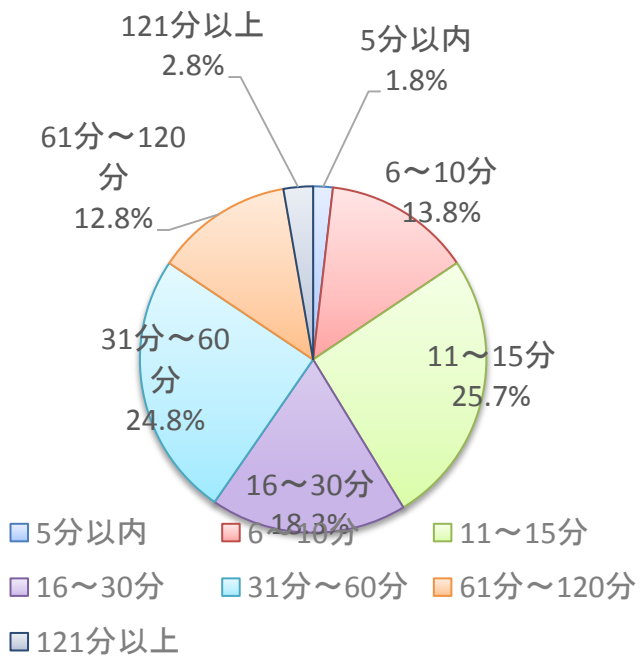
<トレンド ~個人の場合~>

3. 調査結果のご報告

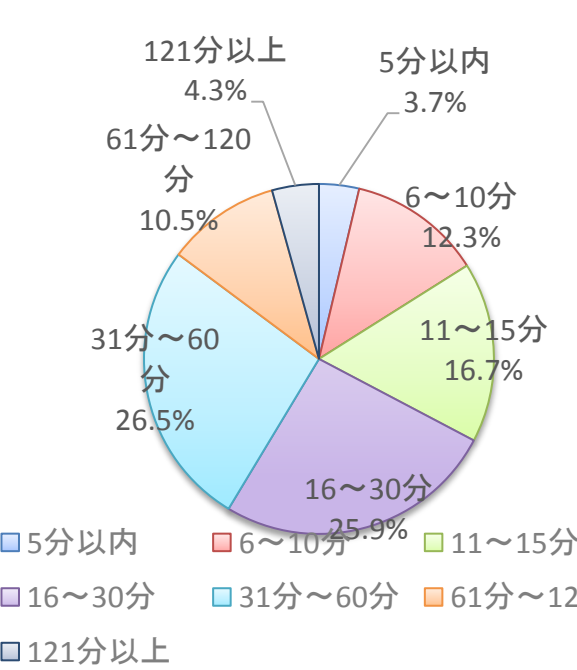
Q4. eラーニングの一度の利用時間は？



会社



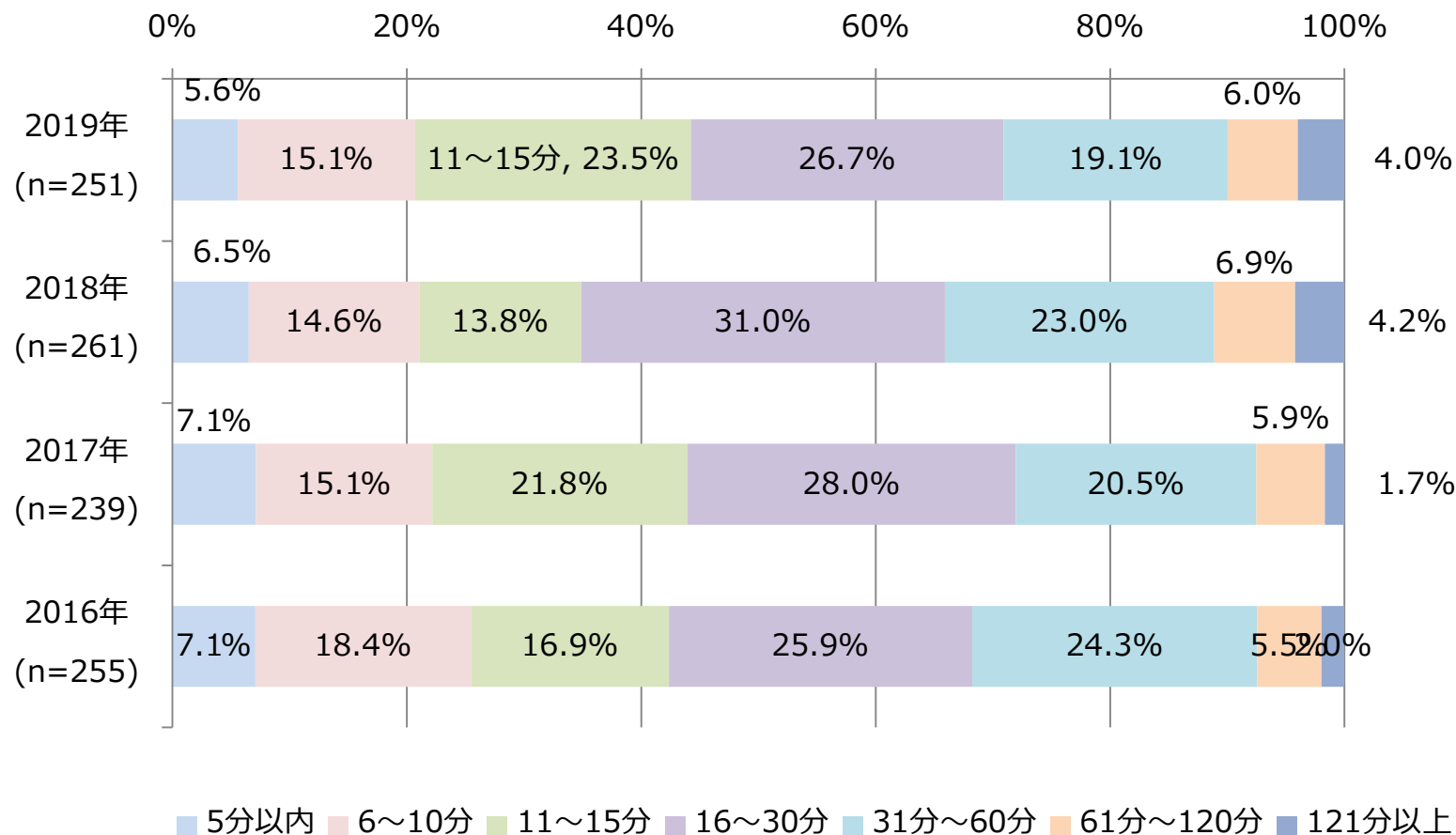
学校



個人

3. 調査結果のご報告

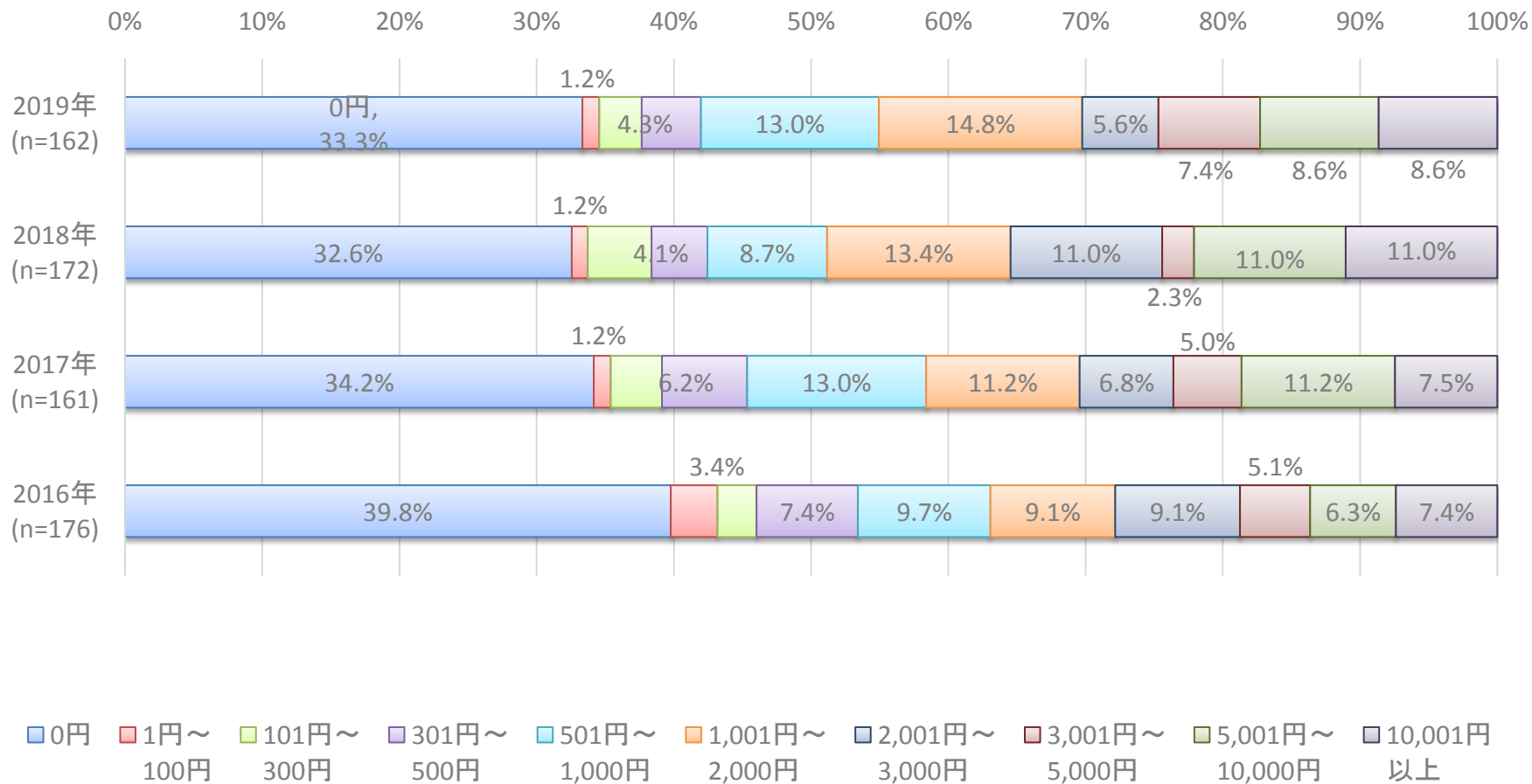
Q4. eラーニングの一度の利用時間は？



<トレンド ～会社の場合～>

3. 調査結果のご報告

Q5. (個人的にeラーニングを実施している方へ) 月額費用は？

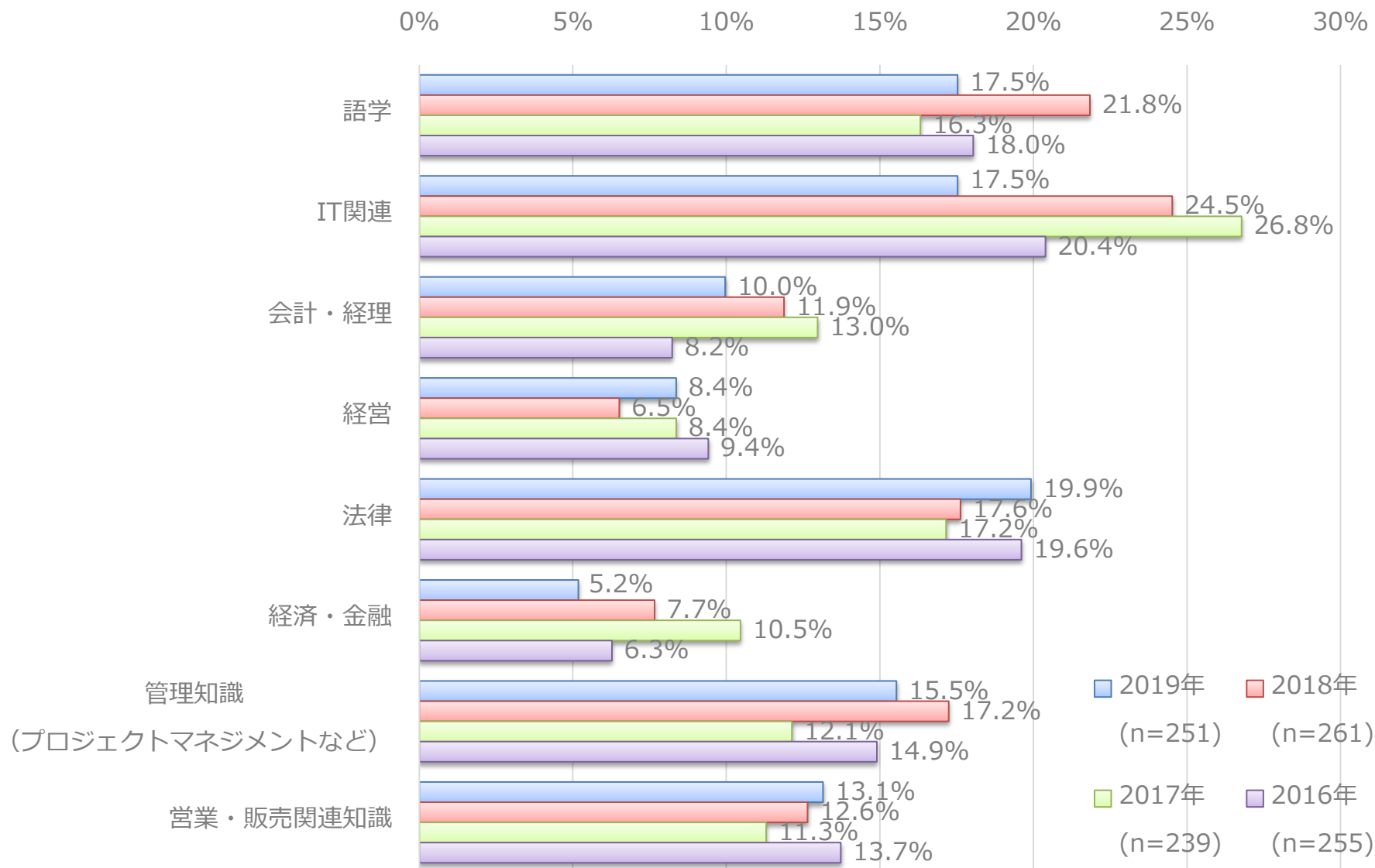


<トレンド>

無償利用が減り有償利用が増える傾向

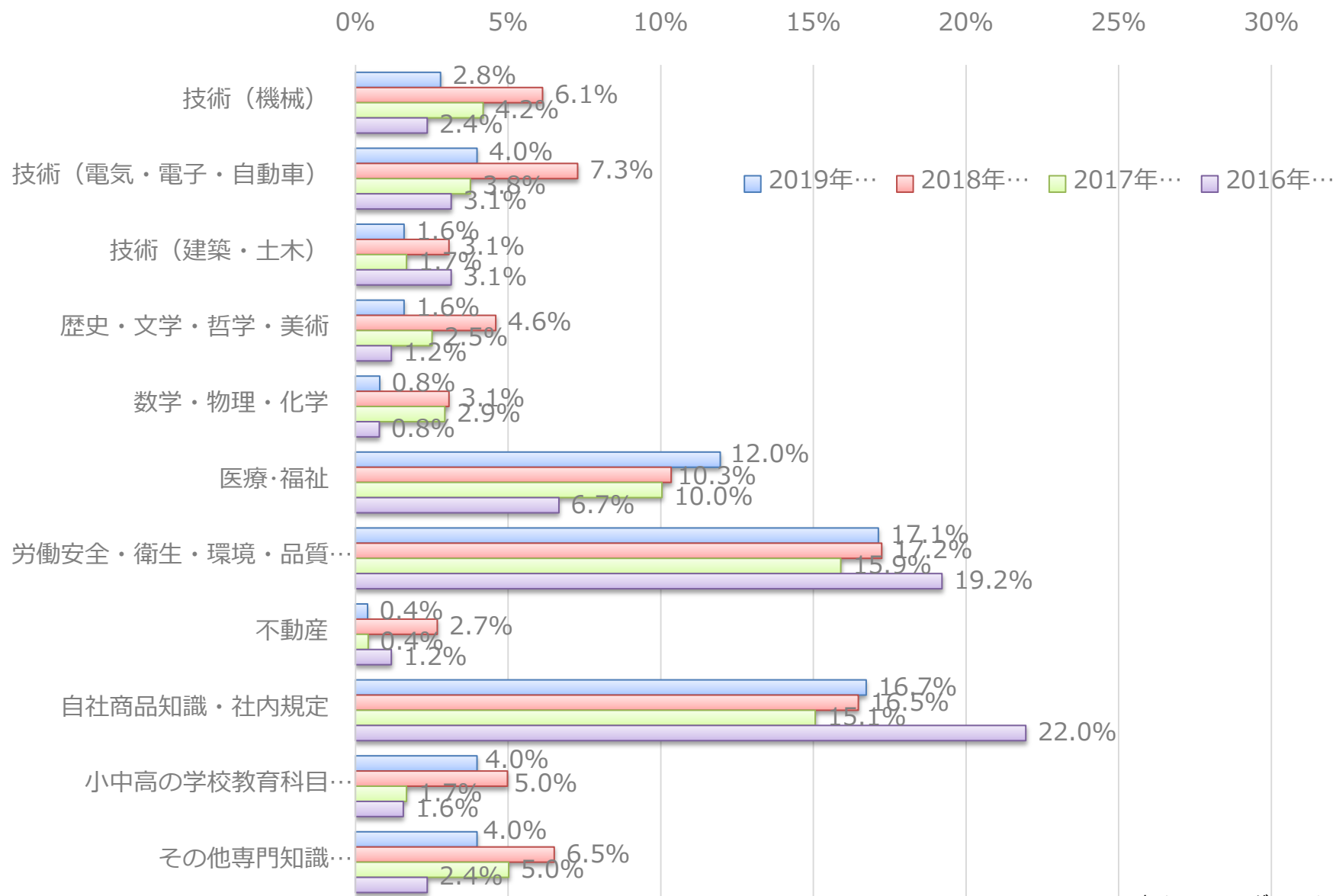
3. 調査結果のご報告

Q6. eラーニングの学習分野は？ ～会社の場合①～



3. 調査結果のご報告

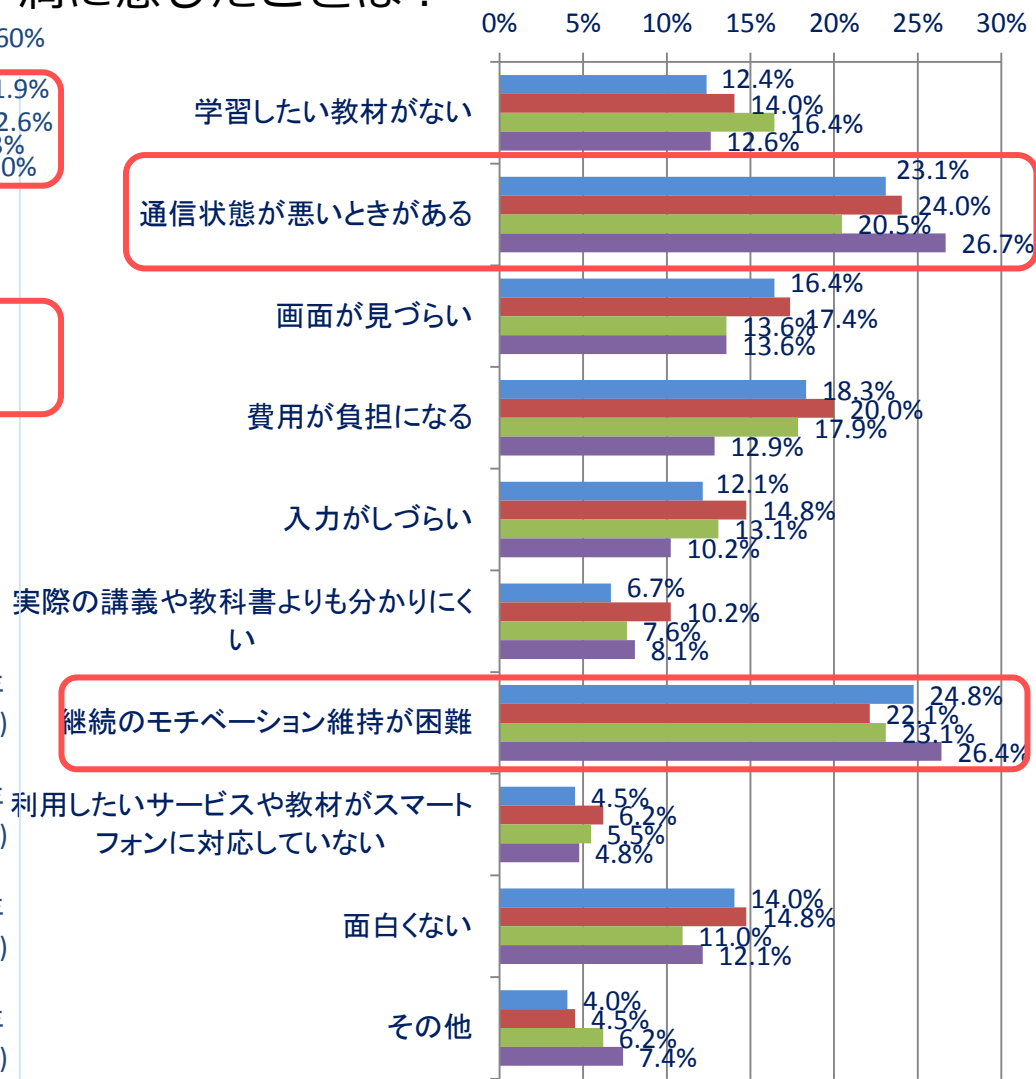
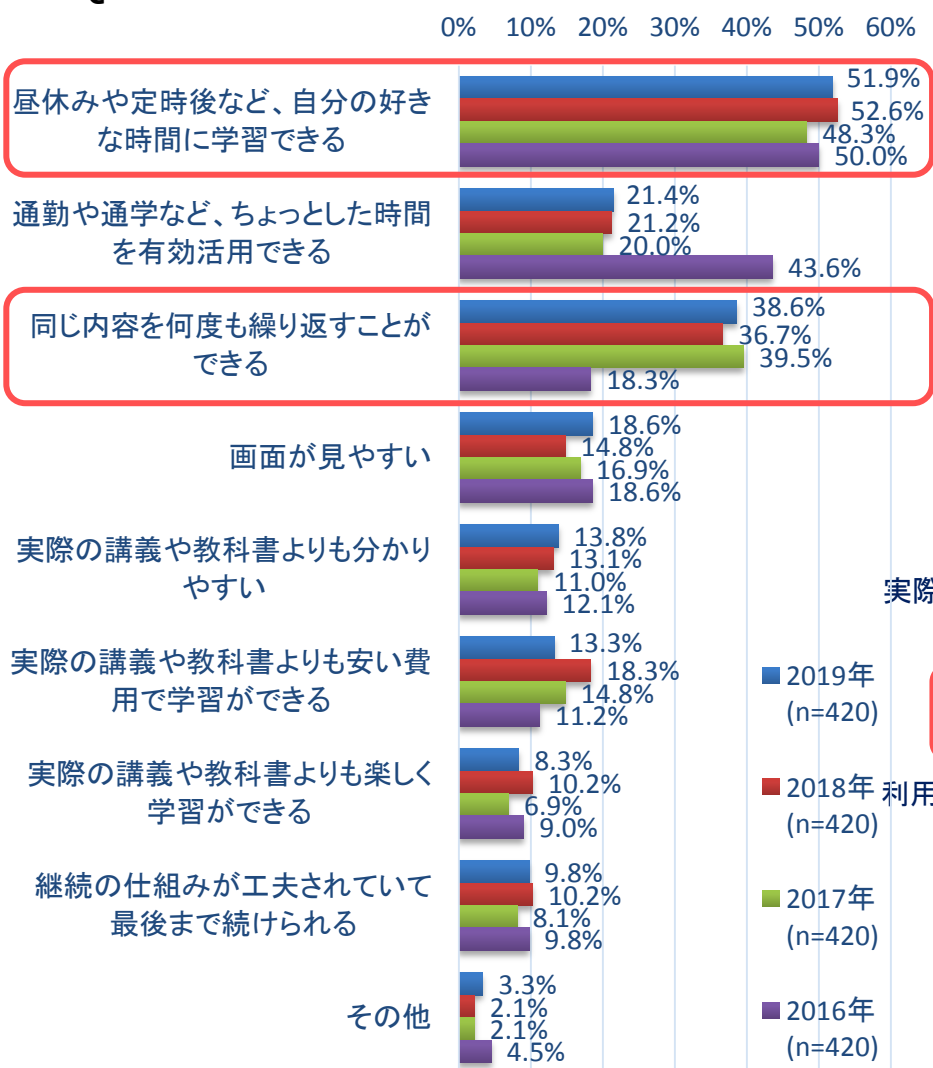
Q6. eラーニングの学習分野は？ ～会社の場合②～



3. 調査結果のご報告

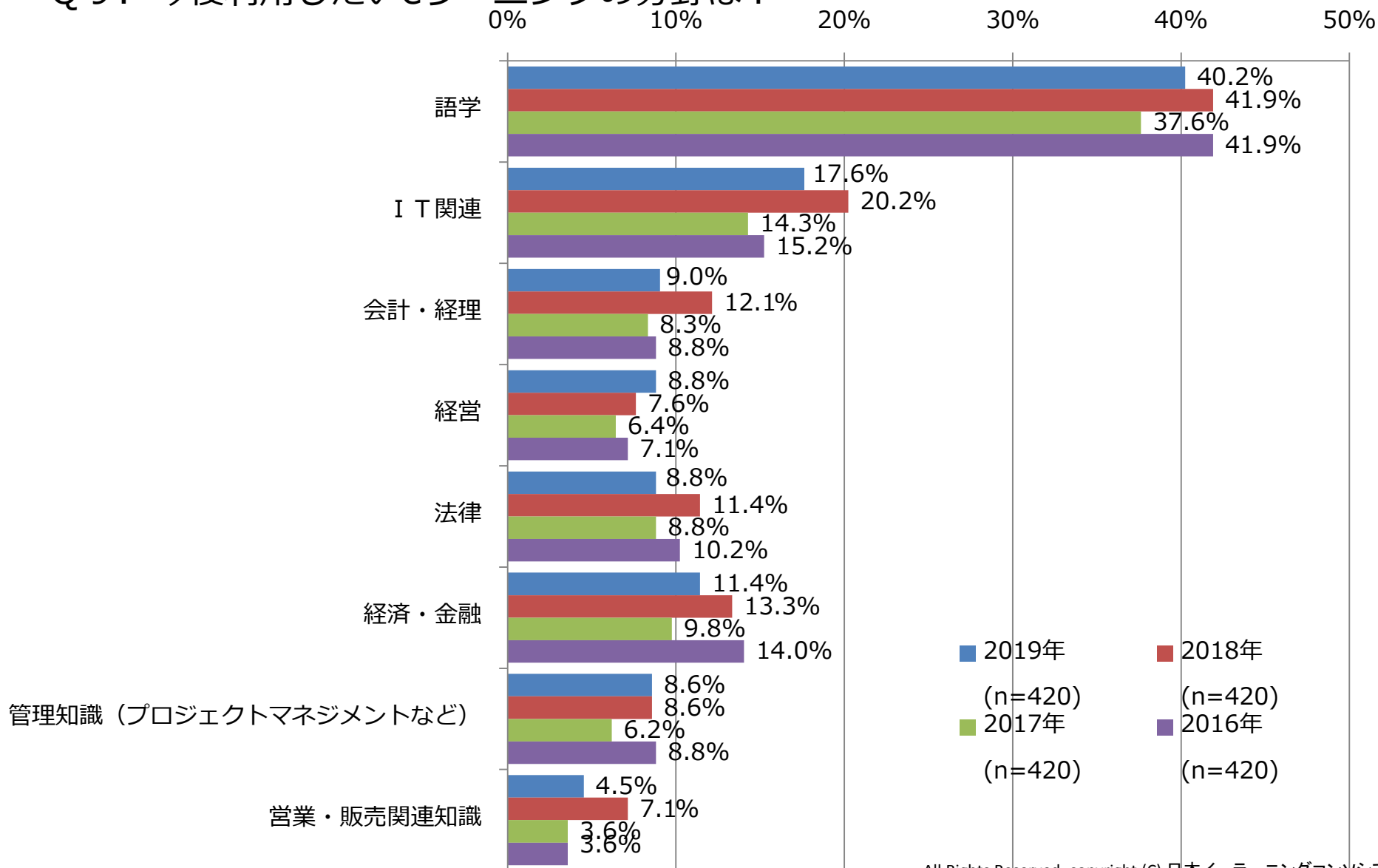
Q7. (eラーニングの経験者方へ) よかったこと、役に立ったと感じたことは？

Q8. (eラーニングの経験者方へ) 不満に感じたことは？



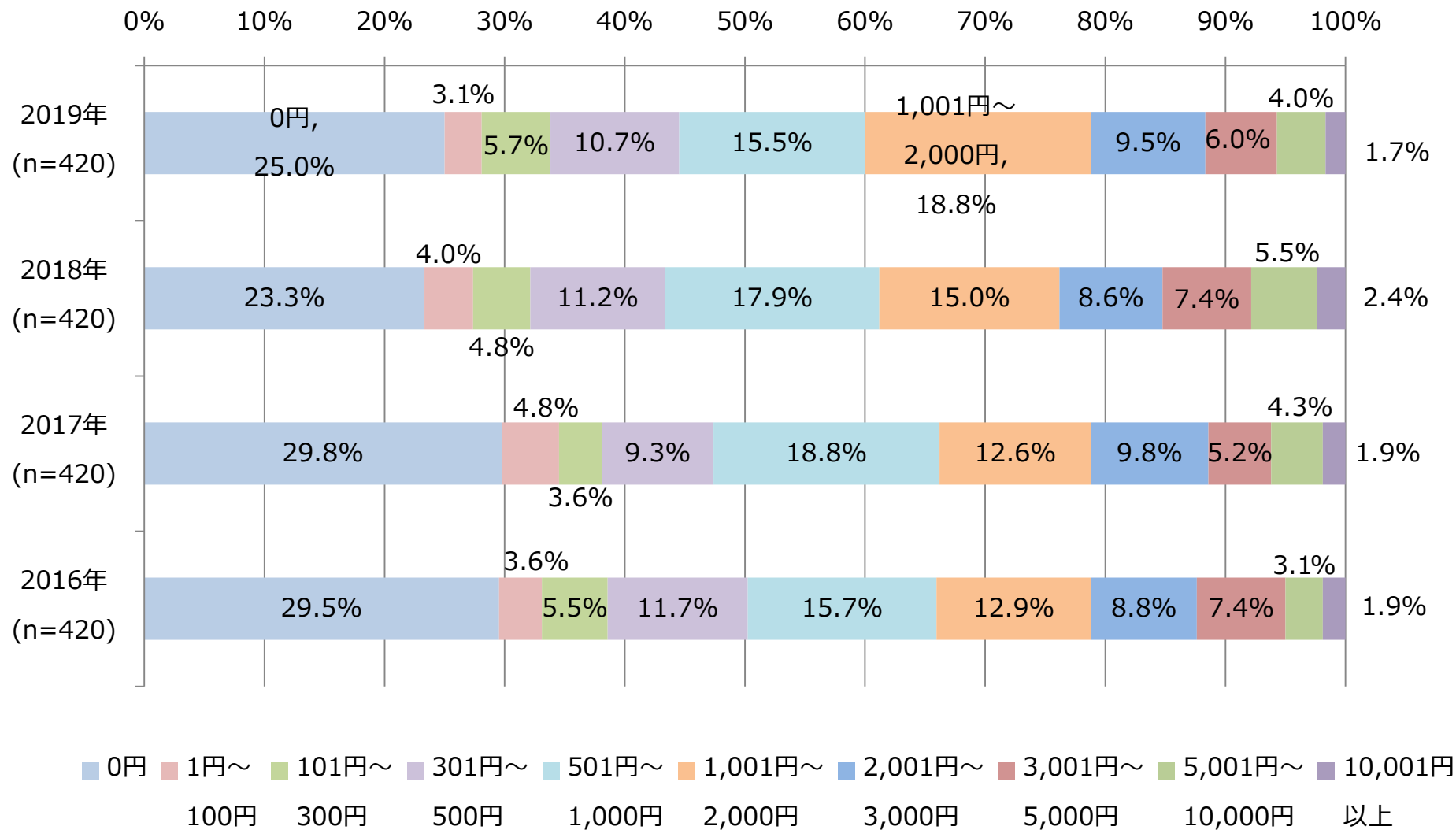
3. 調査結果のご報告

Q 9. 今後利用したいeラーニングの分野は？



3. 調査結果のご報告

Q 1 0 . 今後個人的に「eラーニング」を利用しようとした場合、
支払っても良い金額は（月額）？



4. まとめ

1. eラーニングの利用端末は、スマホが増加、PCが減少の傾向。特にスマホの伸び強い
2. eラーニングのインフラは、企業ユーザはLMSが主役、一方個人利用ではYoutube、専用アプリの利用率高
3. メリットは2点に集中、デメリットは様ざま
4. 無償利用が減少傾向、「支払ってもよい」金額も有償が増加傾向